

令和 5 年度病床機能再編支援事業の事業計画について
(大崎・栗原区域)

1 趣旨

地域医療構想の実現を図る観点から、地域医療構想調整会議の議論の内容及び宮城県医療審議会の意見を踏まえて行う自主的な病床削減や、統合による病床廃止に取り組む際の財政支援について、次のとおり令和 5 年度事業として実施するもの。

2 事業区分及び事業活用予定の医療機関等

事業区分	支援の概要	活用予定の医療機関
単独支援給付金支給事業	病床数の減少を伴う病床機能再編に関する計画を作成した医療機関（統合により廃止する場合も含む）に対し、減少する病床 1 床当たり、病床稼働率に応じた額を支給するもの。	涌谷町国民健康保険病院、永仁会病院、あさの眼科医院
統合支援給付金支給事業	統合（廃止病院あり）に伴い病床数を減少する場合のコスト等に充当するため、統合計画に参加する医療機関（統合関係医療機関）全体で減少する病床 1 床当たり、病床稼働率に応じた額を支給するもの。	該当医療機関なし
債務整理支援給付金支給事業	統合（廃止病院あり）に伴い病床数を減少する場合において、廃止される医療機関の残債を統合後に残る医療機関に承継させる場合、当該引継債務に発生する利子について一定の上限を設けて統合後医療機関へ支給するもの。	該当医療機関なし

※給付金制度の詳細は、別添参考資料（病床機能再編支援補助金について）のとおり

3 事業計画の内容

医療機関名	診療科	平成３０年度 病床機能報告 における病床 稼働率	病床削減 前 の 稼働病床数(A)		事業対象となる 削減病床数（B）		病床削減 後 の 許可病床数（A）-(B)		病床削減に係る方針・考え方
涌谷町国民健康 保険病院	内科 整形外科	８０．４％	高度急性期	０	高度急性期	０	高度急性期	０	宮城県地域医療構想において、当院が位置する大崎・栗原医療圏は、既に急性期病床が過剰となっており、また、現状と将来必要な機能別病床数を比較すると、回復期病床が不足し、慢性期病床は転換等が必要とされています。 当院の現状について、令和４年度の病床稼働率は、一般病床が 55.9％に対して、地域包括ケア病床が 84.9％と高く、大崎・栗原医療圏の医療需要と同様、急性期の病床の需要が低く、回復期の病床の需要が高くなっています。また、１床あたりの単価については、急性期病床が 28,384 円に対して、地域包括ケア病床が 33,232 円と高くなっています。 以上のことから、大崎・栗原医療圏の医療需要の見通しに沿った体制を整え、経営状況を改善するため、令和５年４月から医療需要の低い急性期病床を削減するとともに、医療需要の高い回復期病床を増床しました。 病床数 急性期病床 76 床 → ０ 床（△76 床） 回復期病床 ０ 床 → 60 床（ 60 床） 慢性期病床 39 床 → 39 床 計 115 床 → 99 床（△16 床）
			急性期	76	急性期	76	急性期	０	
			慢性期	39	慢性期	０	慢性期	39	
			計	115	計	76	計	39	
			(以下参考)						
			回復期	０	回復期	▲60	回復期	60	
			合計	115	合計	16	合計	99	
永仁会病院	消化器内科 消化器外科 乳腺外科 肛門外科 腎臓内科 人工透析内科 歯科 矯正歯科	５５．９％	高度急性期	０	高度急性期	０	高度急性期	０	当院は、２階病棟 34 床、３階病棟 46 床の２病棟編成により合計 80 床で運営しておりますが、直近５年間の平均病床稼働率は 54％と効率的な病床運営が行えていない状況にあります。また ２病棟編成を維持するための看護職員の人員確保も年々困難になってきており、さらには当地に新築移転した 23 年前から診療機能も変化してきておりますが、その変化に建物構造面で十分に対応できていない状況にあります。そこで本事業により職員の就労環境の改善、医療サービスの向上を図りたいと考え、病棟機能をすべて３階に集約し、２階に薬剤科及び化学療法室を拡張のうえ移設するほか、内視鏡室の拡張、書庫・備蓄庫等に転用、１階は医事課の拡張及び発熱患者用の診察室を設置する工事に着手し、令和 6 年 3 月末終了の予定です。なお、本事業による改修工事後の病床数は令和 6 年 4 月より 46 床となりますが、直近 5 年間の平均入院患者数は 43 名であること、並びに 46 床のうち 30 床が個室と病床調整がしやすいため、入院患者の受入環境については大きな変化はないものと見込んでおります。当院の患者の動向、区域での当院の役割における変化は無く、地域医療構想の推進においては、大崎・栗原医療圏では急性期病床が過剰な状況にあることから、当院の急性期病床 34 床の削減は推進内容に沿った内容であると考えております。
			急性期	80	急性期	34	急性期	46	
			慢性期	０	慢性期	０	慢性期	０	
			計	80	計	34	計	46	
			(以下参考)						
			回復期	０	回復期	０	回復期	０	
			合計	80	合計	34	合計	46	
あさの眼科医院	眼科	７．７％	高度急性期	０	高度急性期	０	高度急性期	０	当院では現在、主に白内障手術を病床を使用して行っています。 しかし、この手術は外来手術可能であり、また病床稼働率が低下したことから、現在の病床数を減らして支障がないであろうとの判断で、当院の病床数を減らして地域で必要な他の施設で有効に使っていただくという考えです。 削減は地域医療調整会議及び医療審議会の意見が“可”とされた時すみやかに行う予定です。
			急性期	6	急性期	2	急性期	4	
			慢性期	０	慢性期	０	慢性期	０	
			計	6	計	2	計	4	
			(以下参考)						
			回復期	０	回復期	０	回復期	０	
			合計	6	合計	2	合計	4	